

# みんなできつろう 安心の街

令和2年3月号 No. 68  
(公財)宮崎県防犯協会連合会

## うそ電話詐欺(特殊詐欺)の被害状況(令和元年1月~12月)

### 1 全国及び宮崎県の被害状況(暫定値)

区分	認知件数	前年比	被害金額	前年比
全国	16,836件	-1,008件	301.5億円	-81.4億円
宮崎	24件	+2件	3,000万円	-1,784万円

- 全国の被害額は301億5,000万円(前年比-81億4,000万円)、認知件数は1万6,836件(前年比-1,008件)で、いずれも減少しましたが、依然として高い水準で発生しています。
- 宮崎県の被害額は3,000万円で、前年より約1,800万円減少しましたが、認知件数は24件で、前年より2件増加しました。
- 特殊詐欺グループが事前に資産状況や現金の保管場所、家族構成を聞き出すなどの「予兆電話(アポ電)」が全都道府県で確認されています。また、全国では、アポ電後に強盗被害に遭った事件が11件発生するなど、特殊詐欺以外の重大事件に発展するケースも目立ち、警察では「依然深刻な情勢」として警戒を呼び掛けています。

### 2 宮崎県内の手口別・年代別被害状況

区分	全体		オレオレ		架空請求		融資保証		還付金		ギャンブル		その他		キャッシュカード詐欺盗	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
29歳以下	0	0														
30歳代	2	0					1						1			
40歳代	1	1			1	1										
50歳代	2	0					2									
60~64歳	2	0			2											
65~69歳	0	1														1
70歳代	0	6		3		3										
80歳以上	0	9		7		1										1
合計	7	17	0	10	3	5	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2

- 被害者の男女別の割合は、男性7人(29.2%)、女性17人(70.8%)となっています。
- 年齢別では、65歳以上が16人(66.7%)、50~64歳が4人(16.7%)、30~49歳が4人(16.7%)、29歳以下が0人となっています。
- 類型別では、息子・警察官・銀行員等を装うオレオレ詐欺(10件)、有料サイト利用料金名目などの架空請求詐欺(8件)による被害が多発しています。
- 全国では、警察官などを装ってキャッシュカードを盗み取る「詐欺盗」の被害が急増しています。この手口については、「みんなできつろう安心の街」2月号(No67)で紹介していますので、今一度ご確認ください。

### 3 留守番電話の活用を!

うそ電話のほとんどが、家庭の固定電話にかかってくる。  
犯人はだましのプロ、話が上手です。一度、電話に出してしまえば、誰でもだまされるおそれがあります。自宅にいても、常時、留守番電話に設定しておくことで、犯人からの電話に出なくて済みます。また、録音した会話を聞くことができるので、詐欺の電話には冷静に対処することもできます。

**在宅時でも常に留守番電話にしておきましょう!!**

全防連広報誌「月刊安心な街に」3月号「防犯してます!」のコーナーに南九州大学フェニックスパトロール隊隊長 高橋 絵理香さんの投稿記事が掲載されています。ぜひ、ご覧ください!!